

2026 年 7 月 21 日

各 位

鉄建建設株式会社

代表取締役社長 今井 政人

問合せ先 経営企画本部 広報部

(TEL 03-3221-2297)

当社を代表企業とする特定建設工事共同企業体施工工事における不正行為について

この度、当社を代表とする特定建設工事共同企業体が施工中の「北海道新幹線、ニツ森トンネル（明治）他」工事（発注者：鉄道・運輸機構）において、コンクリートの品質管理試験に使用する機器の取り扱いに関し、不正行為があったことが判明いたしました。

施工済みコンクリートの品質および構造物の健全性については現在調査を進めておりますが、当社は、本件を品質管理試験の信頼性に疑義を生じさせる重大な事象と受け止めております。

今後、二度と同様の事態を起こさぬよう、原因究明、品質および健全性の確認、再発防止策の徹底に取り組むとともに、品質管理およびコンプライアンスに関する教育を強化し、信用と信頼の回復に全力を尽くしてまいります。

発注者をはじめ、工事関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 概要と時系列

（１）概 要

本件は、コンクリート打設時の品質管理試験において、試験に使用する機器の取り扱いが適切でなかった事象です。具体的には、単位水量試験（コンクリート中に含まれる水分量を計測する試験）において使用するエアメーターの圧力調整口を操作することで空気量の値を大きく設定し、単位水量が基準値内に収まるよう調整したものです。

当該事象の判明後、当社において関係者へのヒアリングによる確認を行ったところ、当該工事におけるコンクリート打設時に、同様の不正行為が他に 2 回あったことを確認しました。

（２）時系列

2026 年 6 月 12 日 インバートコンクリート打設時の単位水量試験において、発注者から監督補助業務を委託された技術員から指摘を受ける。その後、再試験を実施し、基準値内であることを確認のうえ、打設を完了。

2026 年 6 月 15 日 発注者に不正行為の報告。以前のインバートコンクリートで同様の事象の有無および、インバートコンクリート以外の品質管理試験を含めた事実確認や更なる調査を開始。

2026 年 6 月 16 日 当該工事の検査担当者全員に対しヒアリングを実施し、発覚以前のインバートコンクリートおよび覆工コンクリートの打設時においても同様の行為があったことを確認。翌 17 日に発注者へ報告。
その後、詳細なヒアリングを実施するとともに、品質確認調査計画書を策定。

- 2026 年 7 月 3 日 当該工事における事象発覚以前の覆工コンクリートおよびインバートコンクリートの全箇所について、確認試験・調査を実施する旨を発注者へ報告。
- 2026 年 7 月 7 日 更なるヒアリングの結果、その他、同様の行為が行われていなかったことを確認。同日、発注者へ報告。
- 2026 年 7 月 15 日 当該工事の覆工コンクリートおよびインバートコンクリート全箇所の確認試験・調査を開始。
- 2026 年 7 月 21 日 当社ホームページへ開示。

2. 品質および健全性の確認方法

当社は本件を、品質管理試験の信頼性に疑義を生じさせる重大な事象と受け止め、当該工事において、今回の事象発生までにコンクリート打設した全箇所について、速やかに以下の試験および調査を実施いたします。

- ・強度に関する試験
- ・耐久性に関する試験
- ・充填性に関する調査
- ・その他、発注者と協議の上、必要と判断される確認

試験結果については、発注者と共有のうえ、速やかにお知らせいたします。

3. 工事の継続

現在は、JIS 認定の生コン工場による品質管理試験を全数実施する等、品質管理体制を強化し、工事を継続しております。

4. 再発防止策

当社は、本件を踏まえ、品質管理体制、コンプライアンス教育の強化および再発防止策の徹底に取り組んでまいります。

（１）全社的対策

- ① 社員への周知、理解度調査
- ② 若年層研修における品質管理の重要性に関する教育を強化
- ③ 管理職を対象とするマネジメント研修の強化

（２）当該工事作業所における対策

- ① 社員教育の徹底
- ② コンクリート品質管理試験体制の強化
- ③ 現場管理体制の強化

（３）その他作業所における対策

当該工事における対策を類似工種等の作業所に水平展開

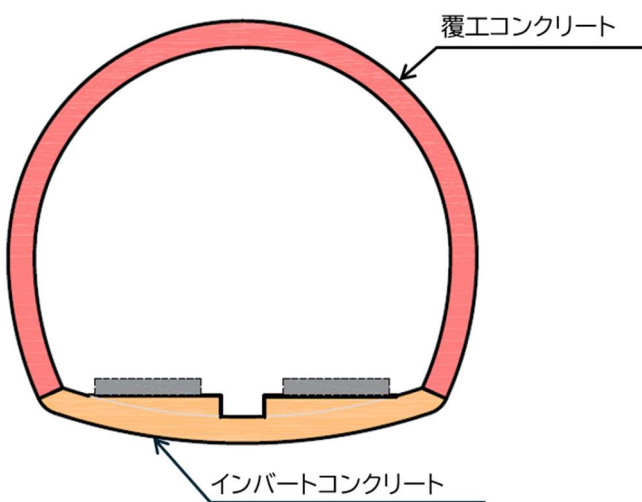
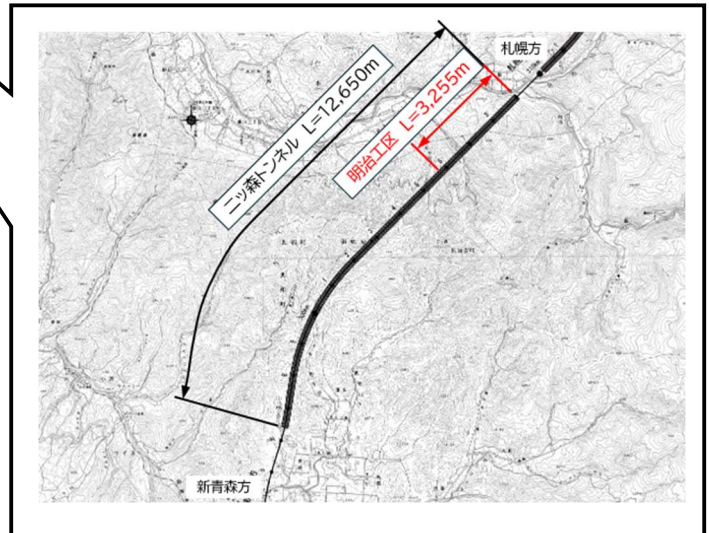
なお、今後の原因究明結果に基づき、必要に応じて更なる再発防止策を検討いたします。

当社は、今回の事象を厳粛に受け止め、調査結果を踏まえた必要な是正措置および再発防止策を着実に実施し、品質管理体制およびコンプライアンスの一層の強化に取り組んでまいります。

【参考資料】



工事箇所



対象構造物



※写真のエアメーターは本件とは関係ありません

エアメーター